



県知事選 自民党・政権中枢に従う内堀氏、原発汚染水放出容認

海洋放出慎重論が県民の大勢を占めても内堀知事は自らの態度を表明していないが、実際は放水トンネルなどの設備着工について事前了解した。漁民や県議からは「海洋放出問題で県が主体でやっていることは何もない」「総務省出身で国の方針に何も批判的なことを言わない」といった声が出る。これまで内堀陣営の一角を担ってきた社民党県連は今回支持をやめた。政権幹部を詣で「予算を引っ張る」お馴染みのスタイルには批判も高まる。前回選挙時の統一教会集会出席に反省の言葉はない。対抗馬となった草野芳明氏には共産党のほか、れいわ新選組サポーター、緑の党グリーンジャパンや様々な市民団体が支持する方向だ。広範な県民の声と力を集め、国言いなりの県政を変えるチャンスだ。

安心と希望の持てる福島県に！ 草野芳明さん政策

1. 汚染水の海洋放出に反対
2. 原発再稼働・新增設を許さない
3. 若者の未来を守る気候危機対策を
4. すべての市町村で学校給食無料に
5. 県立高校の統合は見直しを
6. ジェンダー平等、多様性を尊重する
7. コロナ、物価高から県民を守る
8. 持続可能な農林水産業へ



**10月13日(木)告示
郡山市での第一声は
午後3時から
郡山駅西口広場**

内堀県知事の“住宅追い出し裁判”は「嫌がらせ」「国際法違反」 原発事故“区域外避難者”含め全員『国内避難民』 国連特別報告者・ダマリーさん



9月26日から訪日調査を続けてきた国内避難民の人権に関する国連特別報告者セシリア・ダマリーさんが7日、日本記者クラブで記者会見し「強制避難か自主避難かを問わず全員が国内避難民」「特に脆弱な人々には住宅支援と基本支援を継続すべき」などと強調。区域外避難者への“追い出し裁判”、を続ける福島県知事には「国際法違反」「国内避難民に対する明確な嫌がらせ」とも。訪日要請から4年で実現した訪日調査。様々な権利侵害を目の当たりにしたダマリーさん。来年6月に最終報告書を公表する予定。【民の声新聞 10月8日号】

第30回ミナセンなかどおり相談会

10月16日(日)午前10時～郡山教組会館

「県知事選のとりくみ」「統一協会自民党癒着」「非核3原則否決問題」等